

6 場所は都市にとってどのような意味を持つか

2003/4/19

1 場所の意味——都市の基盤

- 1) いったん選択された場所は、都市の全生活、全活動に決定的な意味をもつ
- 2) 選択された場所は、相当継続的で容易に変更はできなくなる
- 3) 場所は機能的な意味のほか、住む人間にとって心情的にも深く影響を与える。
- 4) 場所に手を加え住みよい条件にするように改変してゆく

2 都市をつくる場の選定と継続性

客観性 × 主観性 × 偶然性 + 既成条件

- 1) 客観性・合目的性 生活条件（水、安全）、目的に合わせた立地条件
- 2) 主観性 リーダーなどの意見、集団の意思、宗教的な意味
- 3) 偶然性 資源の存在、上陸地点、滞在地
- 4) 既成条件 都市集積、住民、インフラ、システム
- 5) 継続・再生条件 産業、歴史、シンボル、有利性、場所の意味性

2 都市の立地条件——選択条件

- 1) 水利と可能性 水源（泉、オアシス、川）、導水の可能性
- 2) 外敵・災害からの安全性 防御性（天然か人工物か）災害の蓋然性、外敵の侵入
- 3) 交流に便利 川、海の港、陸上交通の便、街道沿い
- 4) 発展の可能性 平地の広がり、
- 5) 都市相互間の距離 適度な離間距離

3 都市の立地条件——目的別の場所性

- 1) 定住都市 農業、安全、便利？——それだけでは都市と言えない
- 2) 商業都市・中継都市 交通、開放性
- 3) 政治都市・軍事都市 支配地域との関係、政治勢力との関係
- 4) 宗教都市・学術都市 宗教的意味、指導者、学問の必要性
- 5) 産業都市 原料、エネルギー、労働力、消費地、生活性
- 6) 情報都市 情報インフラ、情報発信源

4 立地と発展の諸説

- 1) 政治力学——防御、支配、統治、離脱、指令
- 2) 経済力学——交流、効率、収益、
- 3) 社会力学——要請、災害、民族、宗教、差別
- 4) 心情力学——思い、愛情、誇り、好感、コミュニティ

5 人工環境による補完・目的性の追加・利便性の追加

- 1) 外部インフラ——港湾、道路、鉄道、エネルギー、水源、
- 2) 都市インフラ——城壁、水道、排水、生活利便施設
- 3) 都市の管理システムと都市生活の快適性

第一部 都市の原理

I 都市の発生とその意味 —— 都市文明を問う

- | | | |
|----|-----------------------------------|---------|
| 1 | 都市の誕生 —— 人間はなぜ都市をつくったか | 02.9.21 |
| 2 | 人間は都市に何を求めたか | 10.17 |
| 3 | 都市は誰がつくり維持・運営してきたか | 11/16 |
| 4 | 人間はこれまでどのような都市をつくり暮らしてきたか(概観) | 12/21 |
| 5 | 都市の基盤 —— 人間環境としての自然と都市 | 03/2/15 |
| 6 | 場所は都市にとってどのような意味をもつか | * 3/29 |
| 7 | 都市の土地とは人間にとっていかなる存在か | 4/19 |
| 8 | 都市は変動する。その制御は必要かまた可能か | 5/17 |
| 9 | 都市という文明は本質的に矛盾を内包する。 | 03/6/21 |
| 10 | 「都市の時代」が到来し、都市はどう対応すべきか | 7/19 |
| 11 | 「まちづくり」という発想はなぜ生まれたか | 9/20 |
| 12 | 「まちづくり」・都市政策の主体は市民政府としての自治体であるべきだ | 10/18 |

II 世界の都市とその興亡 —— 都市文明の歴史 —— 比較都市論

- | | | |
|----|---------------------------------|----------|
| 13 | 文明と都市の誕生 —— 原始都市、メソポタミア(比較都市論①) | 03/11/15 |
| 14 | 西欧都市の原点 —— ギリシャ・ローマ都市(比較都市論②) | 03/12/20 |
| 15 | 西欧都市の展開 —— ヨーロッパ中世都市(比較都市論③) | 04/2/21 |
| 17 | イスラム都市論(比較都市論④) | 04/3/21 |
| 18 | 古代中国都市、インダス都市(比較都市論⑤) | 04/4/ |
| 19 | 古代アメリカ都市(比較都市論⑥) | 04/5/ |
| 20 | 東南アジア、チベット、ブータン、アフリカ(比較都市論⑦) | 04/6/ |
| 21 | 日本の都市(古代、中世、近世)(比較都市論⑧) | 04/7/ |

III <近代都市の発生 —— その課題>

- | | | |
|----|---------------------------------|---------|
| 22 | 近代都市はなぜ生れたか —— 産業革命による都市の変質 | 04/09/ |
| 23 | 都市の膨張と人口増加をもたらしたものはなにか —— 交通、通信 | 04/10/ |
| 24 | 19世紀的古典的都市問題の発生 | 04/11// |
| 25 | 都市像の混乱 —— 栄光・繁栄・貧困・抑圧・非行 | 04/12// |

IV <近代都市への対応 —— 都市思潮① 西欧戦前まで>

- | | | |
|----|------------------------------|-------|
| 26 | 絶対王政と都市計画 —— 権力と美 | 05/2/ |
| 27 | チャドウィック・エンゲルス・森鷗外 —— 公衆衛生の思想 | 05/3/ |
| 28 | エベネーザー・ハワードと田園都市 —— その後の田園都市 | 05/4/ |

- 29 ナショナルトラスト
- 30 都市計画国際会議
- 31 ユークリッド判決と土地利用
- 32 アメリカと摩天楼都市とヘンリー・ロイド・ライト
- 33 アテネ憲章とコルビジエ
- 34 国土計画と高速道路 —— ナチスドイツ
- 35 ソビエトロシアの計画経済と都市

V<近代都市への挑戦 —— 都市思潮② 日本・戦前まで>

- 36 自治の抑制と中央集権体制
- 37 銀座煉瓦街計画・中央官庁街計画
- 38 日本における田園都市
- 39 東京市区改正条例 9/
- 40 後藤新平と関一 ——
- 41 都市計画法の成立と限界

VI<戦後の都市課題への挑戦と問題 —— 都市思潮③大戦後、西欧・日本>

- 42 大ロンドン計画とブキャナンレポート
- 43 イギリスのニュータウン政策とその展開
- 44 都市再開発(フデラルブルドーザー) —— ジェーン・ジェイコブスの警告
- 45 日本の地域開発・国土計画 —— T V Aからゴスプランまで
- 46 国土総合開発計画の功罪
- 47 日本列島改造計画 —— 土建国家の成立と崩壊
- 48 首都移転と首都問題 —— ブラジリア、キャンベラ、東京

VI<現代都市への対応 —— 20世紀後半>

- 49 近代都市から現代都市へ —— クルマ社会の実現 —— その課題
- 50 現代都市の問題の本質はなにか。それへの対処はどうするか。
- 51 メガロポリス、エクメノポリスの認識
- 52 都市の拡散と都心の再生は可能か —— スプロール、ショッピングセンター
- 53 都市のムラ化と農村のマチ化の実体をどう考える
- 54 コミュニティの構想 —— ムラ型社会からマチ型社会への転換
- 55 国際化による対応 —— 現代都市とグローバルゼイション
- 56 コンパクト・シティ
- ★57 地方分権と「まちづくり」の発想 —— 中央官僚統制の限界
- 58 市民参加型まちづくり —— 戦後都市計画の反省
- 59 都市の行く末 —— ニューヨーク貿易センタービルの崩壊以後 —— 草原の都市
- 60 現代都市問題への対応